

# 優秀賞 国土交通省水管理・国土保全局水資源部長賞

## ため池復権く僕たちの挑戦く

香川県 善通寺市立東中学校

三年 高田 知希

僕たちのふるさと香川県は、昔から雨が極端に少なく、「一滴の水は金のごとし」と言われるほど水の獲得に苦勞してきました。約一万七千個のため池が、讃岐の命綱でした。けれども、近年、ため池の多くは、香川用水通水によって意義を軽視され、手放されたり、埋め立てられたり、家庭ごみを投げこまれてごみ箱同然にされたりするようになってきました。

僕たちボランティア部員は、三年前から、ため池を讃岐の水文化の大切な遺産として、守ろうと取り組んできました。

一九年度の先輩たちは、善通寺市内のおもなため池である「買田池」、「地藏池」、「瓢箪池」、「満賀池」、「吉原大池」や、今では、埋められ消えてしまった「長砂古池」、「朝比奈池」、「四ツ池」に関する史実を、書物や地域の方への聞き取りによって調べて記録し、冊子『善通寺ため池物語』を作成しました。そして市民ギャラリーで、池の美しさに心がゆれた瞬間を写した写真を、史実とともに紹介する『水の里善通寺ため池写真展』を開きました。こうした活動を通して、先輩たちは、命がけでため池を築造・改修してきた先人のことや、水を分け合う「番水制」、水を奪い合う「水争い」、「水いくさ」のことなどを知り、一つ一つの池に、忘れてはならない貴重な物語があることに驚いたそうです。

二十年度の先輩たちは、一年を通して、市内のため池の掃除を続けました。とくに、市内でも最も汚れが目立つ「宮池」に通って、堤のごみ拾いと花植えをし、冬には池干し後のへどろに長靴を沈ませながら、散乱した家庭ごみを拾い続けたそうです。その姿は、地域の方の心を動かし、やがて地域一丸となった「宮池」の一斉清掃がおこなわれ、池は、よみがえりました。

そのころ僕たちが入部し、二年間の取り組みを受け継いで、より広い場所で活動することになりました。僕たちが挑戦したのは、県内全域のおもなため池を訪れ、その美しさを写真に撮り、史実とともに紹介する『香川県ため池の四季写真展』を開くことです。

こんなにため池の多い香川県ですが、不思議なことに、おもなため池を紹介するガイドマップやパンフレットは、僕の知るところ一冊もありません。ため池自体を観光資源とする「ため池めぐり」という発想もなく、さらに、ため池に関する書物はどれも専門的で難しいものばかりです。このままでは、一般の人が県内のため池に親しむをもつことも、水の歴史や文化について知ることにも困難です。

そこで僕たちは、自分たちのできる範囲で、県内のおもなため池をめぐり、その美しさを撮影して写真展を開こうと思いました。讃岐平野を「自然美術館」と考え、点在するため池を、「香川の美・アート」として紹介し鑑賞していこうという試みです。僕たちは、二十数人の部員を三、四人のグループに分け、地図と時刻表を見比べながら、ため池めぐりの計画を立てました。そして土曜日や日曜日の朝、早いときには四時には起きて池をめぐり撮影しました。

こうして九ヶ月後、みんなで約二百個の池を訪れた僕たちは、この中から六十八個の池を選んで史実を調べ、昨年十二月、市立美術館で『香川県ため池の四季写真展』を開きました。たくさんの方が見てくださり、「こんなに美しいため池があることを初めて知りました。」「ため池を守っていききたい。」「水を大切にしたい。」「という感想が寄せられました。」「水文化について知ろうとすると、ふるさとの歴史や地理や人々の姿が、自然にくつきりと見えてきます。これからも、ため池に関わる取り組みを続け、ふるさとを学び続けたいと思います。」